**○○市（町村）災害ボランティアセンター運営方針（案）**

**１ センターの使命について**

災害ボランティアセンターの使命は、次に掲げるものとする。

(1)災害ボランティアセンターは、原則として、地元住民が自主的に復旧・復興できない部分、行政が取り組むことができない部分の復旧・復興支援を行う。

(2)災害ボランティアセンターは、被災住民の衣食住が確保され、仮設住宅の整備等により家族単位で一定の生活を営むことができるまでの支援を行う。

(3)復旧・復興の主役はあくまでも地域住民であり、災害ボランティアセンターは、地域住民の力を引き出すための支援を行う。

**２ センターの機能について**

災害ボランティアセンターの機能は次に掲げるものとする。

(1)関係機関への情報提供、支援要請

(2)被災状況と被災者のボランティア・ニーズの把握

(3)災害ボランティアの募集と受け入れ、ボランティア活動保険加入チェックと未加入者の加入手続き

(4)災害ボランティアと支援を必要とする地域住民のコーディネート

(5)災害ボランティアセンターに関する情報の収集と発信

(6)その他、被災状況、時期により必要と認められるもの

**３ ボランティア活動基準について**

ボランティア活動（送り出し）基準にあたっては、次の点に留意する。

(1)ボランティアの安全が確保できること

(2)行政が取り組むことのできない活動であること

(3)災害時要援護者など、特に支援が必要な方を優先すること

**４ センターの閉所時期について**

臨時的、応急的なセンターであることを十分に考慮し、関係機関と協議の上決定する。

**５ センター運営にあたっての留意事項について**

(1) ボランティアの安全を確保するとともに、ボランティアの自主性や柔軟性等を支援に活かすこと

(2) 様々な関係機関や個人の集合体であることを考慮し、意思疎通を十分に図り、各種情報の共有に努めること

(3) 被災地情報、ボランティア募集等の情報発信にあたっては、混乱を来さないよう正確性を確保すること

(4) この運営方針の内容に疑義が生じた場合は、スタッフ間で十分協議の上、必要に応じて災害ボランティアセンター本部長の判断により内容の変更を行うこと

被災者へのお知らせ（センター設置）文書

令和　　年　　月　　日

住民の皆さんへ

○○災害ボランティアセンター

ボランティアセンター設置のお知らせ

　このたび、令和　　年福岡県○○災害の救援のため、○○市（町村）社会福祉協議会、○○市（町村）ボランティア連絡協議会（実際に設置の主体となった団体・グループ名を入れる）による○○災害ボランティアセンターを設置しました。

　つきましては、ボランティア活動を依頼したい場合や各種相談の窓口としてご活用ください。

お問い合わせ先

　○○市災害ボランティアセンター

　住　所

　電　話

　ＦＡＸ

被災者への広報用（ニーズ調査）チラシ

**家の片付けなど私たちが手伝います**

**○○災害ボランティアセンター**

**をご利用ください！**

**ボランティアの依頼方法**

　　ボランティアセンターに直接来所されるか、電話又はＦＡＸでお申し込みくださ

い。

　　ＦＡＸで申し込む場合は、連絡先・詳しい状況・希望日時等をお知らせください。

**受付期間**

　　令和　　年　　月　　日（　　）から

**受付時間**

　　来所・電話：９時から１６時まで

　　Ｆ　Ａ　Ｘ：毎日２４時間受付（ボランティアセンター閉所まで）

**お願い**

　　内容により、ご要望にお応えできない場合もあります。その場合はご連絡しますので、ご了承ください。

　　また、住民の皆様で片付けなどお手伝いいただける方は、ぜひボランティアとしてお手伝いしてください。

**【問い合わせ先】**

**○○○災害ボランティアセンター**

**住　所**

**電　話**

**ＦＡＸ**

ボランティア募集開始時の広報（ホームページ、ＳＮＳ等）

**ボランティアを募集します！**

**○○○災害ボランティアセンターでは、災害ボランティアを募集しています。皆さんの、暖かいご支援を待ちしています。**

**作業の内容**

泥出し、片付け、家具の移動、清掃　など

**募集範囲**

県内外問わず

**募集開始**

令和○○年○月○日（○）から

**受付場所・時間**

○○総合福祉センター（住所）で９時から受付を開始します。

**交通手段・駐車場**

最寄り駅○○駅から徒歩○分

車でお越しの場合は、○○駐車場をご利用ください。

**ボランティアに来てくださる皆さんへ**

・出かける前に、必ず当センターのＨＰ、ＦＡＣＥＢＯＯＫ等でボランティアの募集状況等最新の情報について確認してください。

・昼食や飲み物は持参してください。

・無報酬です。交通費も自己負担です。

・汚れてもよい服装で参加してください。

・最寄りの社会福祉協議会で、必ずボランティア活動保険に加入してください。

・高速道路を利用する場合は、「災害派遣等従事車両証明書」により通行料金が無料となります。手続き等詳しい内容は、当センターのＨＰで確認してください。

・天候やボランティア依頼の状況により、活動がない場合もあります。

**○○○災害ボランティアセンター**

**住　所**

**電　話**

**ＦＡＸ**

ボランティア募集状況の広報（ホームページ、ＳＮＳ等）

**日々の活動報告及び翌日のボランティア募集**

本日（○月○日）の活動について

　本日は、○○名の皆様にご協力いただきました。連日暑い中での活動、本当にありがとうございます。

　明日は○○名のボランティアさんが必要となる予定です。９時から受付をいたしますので、皆さんの、暖かいご支援を待ちしています。

**ボランティア活動中止のお知らせ（雨天の場合）**

明日（○月○日）の活動は雨により中止します

　雨による二次災害の可能性があるため、明日のボランティア活動は中止となりました。

　参加を予定されていた方には大変申し訳ありませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

　なお、今後につきまして、本ホームページ及びFacebookで最新情報を掲載する予定です。引き続きご支援をお願いいたします。

**活動日及び受付方法の変更**

○月以降のボランティア受付方法の変更について

　連日多くのボランティアの皆様にご協力・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。「○○災害ボランティアセンター」を開設して以来、これまで毎日（雨天等を除く）ボランティアの受付をしてきましたが、○月○日以降は指定曜日（土曜日・日曜日）の受付に変更し、登録制とさせていただきます。

　登録方法やボランティアの受付状況は、公式ホームページ（又は公式Facebookページ）でお知らせいたしますので、最新情報をご確認ください。

　復旧・復興に向けて○月以降も引き続き、ボランティア活動のご協力をよろしくお願いいたします。

**ボランティアの心構え**

**１　基本的な留意事項**

**①　自分のことは自分で守る**

病気や食べ物、住居に困っているのは被災者である。被災者に迷惑をかけては、何の

ためにボランティアに行ったのかわからない。健康管理は言うまでもなく、食事や宿泊場

所の確保、帰省時の交通費、貴重品の管理など、自分のことは自分で守ること。

**② 被災者の立場に立った活動をする。**

混乱している被災者の心をかき乱すような態度は好ましくない。挨拶や言葉遣いなど、

基本的なことを大切にすること。ボランティアは被災者に「やってあげる」のではない。

「お手伝いさせていただく」くらいの気持ちで。

**③ 自分で考えて行動しよう**

誰かの指示を待っているのではなく、自分で考えて行動する。周囲の様子をよく見て、

今、自分がやるべきことを考える。

**④ 集団行動のルールを守る。**

災害ボランティア活動はグループでの活動である。リーダーの指示に従って行動すること。

問題が起きたら勝手な判断をせずにグループで相談して解決するか、それでもだめな場合はボランティアセンターに相談すること。

**⑤ 断る勇気を持つ。**

気持ちが先走り、できないことまで安請け合いするのはやめる。できないことはできな

いと断る勇気も必要である。できないことを引き受けても、後でトラブルになるだけ。

**⑥ 思い込みをなくす。**

勝手な思い込みは被災者との心のすれ違いを生むこともある。また「自分がやらなけれ

ば！」といった気負い過ぎも、被災者にとっては大きなお世話になる場合もある。「何を

やるべきか」「何が求められているか」をしっかり理解し、役に立つ活動をする。

**⑦ 地域住民の自立を支援する。**

被災者とボランティアは復興に向けて「一緒に協力する」関係である。やり過ぎて被災

者の自立を遅らせることのないように、気を付けることが重要。

**２　服装・持ちもの**

　服装や携行品は、災害の種類や規模、ボランティア活動を行う時期によって異なるため、基本的なものを紹介する。

**服装**

　ケガ防止のための長そで・長ズボン（吸湿性・通気性の高いもの、汚れてもいいもの）。

**長靴**

　長靴を長時間履いていると、くつ擦れを起こしやすいので、厚手の靴下とセットで用意しておくといい。

**帽子**

　直射日光をさえぎる（日射病・熱中症対策）。

**マスク**

　粉じんを吸い込まないようにするため。活性炭入りの防じんマスクなら、泥や消毒剤の臭い消しにも役立つ。



**持ちもの**

　　軍手　　　　　　　ゴム手袋　　　　　　タオル　　　　　　着替え







活動が終わったら着替えた方がよいでしょう

数枚持ちましょう

すべり止めがついた厚手のものがよい

　　　雨合羽　　　　　　　　薬　　　　　　　　　　　食べ物・飲み物







自分で昼ご飯（腐りにくいもの）、飲み物を用意（夏なら２～３Ｌ、こまめに水分補給。スポーツドリンクなどが最適）

目薬やうがい薬を

持って行きましょう

小雨でも活動する場合が多い

**３　活動するための手順**

**①正確な情報を事前に入手**

　社協ホームページや報道などでボランティア募集の状況についての情報を入手する。「とりあえず現地に行ってみる」と思って現地に行っても、ボランティアを募集していなかったり、その時点で集まっているボランティアで十分足りていたりして、無駄足になることもある。

**②行き先の決定**

　ボランティアの募集状況や交通手段などを調べた上で行き先を決める。行き先を決めたら、現地災害ボランティアセンターのホームページやフェイスブック等で最新情報や注意事項を確認する。

**③出かける準備**

　住まいの近くの社会福祉協議会もしくは現地災害ボランティアセンターでボランティア活動保険に入る。

　持ち物や昼食、飲みものなど必要なものを用意し、帰宅時の計画も含めた旅の手配をし、活動ができる健康体であるか確認する。

**④現地へ出発**

　無理な旅程はやめる。余裕をもって。

**⑤現地到着**

　現地災害ボランティアセンターで受付する。

〈留意事項〉

・現地に着いたら個人で行動せずに、災害ボランティアセンターを訪ね、受付をする。

・個別の団体等で活動する場合も、情報共有のために、ボランティアセンターを訪ねる。

・被災地は食料、水、寝る場所など、基本的なものが不足している。また災害によっ

てはケガ人が多く出たり、病気になったりする被災者が多い場合もある。被災者のた

めにと思った活動が、本当に役に立つためにはどうしたらいいのか、一人一人がよく

考えて行動することが重要である。

**■災害ボランティア活動の流れ■**

作業に使う資材などの準備

**資材準備等**

作業の紹介

説明

地図確認等

**マッチング**

登録

保険加入等

**受　付**

**準備ができたら出発！！**

**報　告**

活動報告

（必ずボランティアセンターに帰って報告します）

**４　活動に係る経費**

　　ボランティア活動は自分のことは自分でやる「自己完結型」の活動である。被災地ま

での交通費、被災地での宿泊費、食費、ボランティア活動保険料など、ボランティア活動のための経費はすべて自己負担が基本。負担できる人が活動に参加する。

ただし、ボランティア活動保険については、市町村災害ボランティアセンター等が負担する場合もあるので、事前に確認すること。

**５　安全確保**

　　まず最初に自分の健康に留意することが大切である。また、危険な行動や危険を伴う

活動は避ける。危険だと判断したら、依頼されても断ることが必要である。病気や怪我

は、役に立つためのボランティア活動をかえって迷惑な活動にしてしまう。

被災地は復旧・復興活動に忙しく、ボランティアセンターも日々の活動で手一杯とな

る。安全に留意して、迷惑をかけないように気を付けること。